

事業所名		児童発達支援センターさくらんぼ園				支援プログラム		作成日		2025 年		3 月		18 日	
法人（事業所）理念		○子どもの安心と安全を守ります。 ○一人ひとりの気持ちを大切に、愛情と心のこもった療育を行います。 ○保護者との相互理解に基づいた、信頼される療育を行います。													
支援方針		○健康なからだをつくる。 ○基本的な生活習慣を身に着ける。 ○興味をもって楽しく楽しく遊ぶ。 ○思いや考えを自由に表現する。													
営業時間			8 時	45 分から	17 時	30 分まで	送迎実施の有無		○あり なし 通園バスの運行は単独通園のみ						
		支 援 内 容													
本人支援	健康・生活	・健康観察と検温を行い、一人一人の健康状態を把握します。 ・家庭と連携し睡眠、食事、排泄等の生活リズムを整え、安定した生活を送れるように支援します。 ・食べる力を育てるために食形態や量、温度等に配慮して給食を提供します。また、姿勢保持のため机・椅子を調整し、素材や機能等使いやすい食具を検討しながら支援します。（単独通園） ・食事や栄養について講座を行い、食に関する情報提供を行います。また、行事食や親子クッキング等を通して、食に関する体験ができるように支援します。 ・食事、排泄、衣類の着脱、身のまわりのことなど基本的な生活習慣を身につけられるように、生活環境を調整しながら子どもの状態に応じて支援します。													
	運動・感覚	・日常生活に必要な動作（靴や衣類の着脱、食事、排泄、手洗い・うがい）を身につけられるように、環境を整え一人一人に応じたやり方で支援します。 ・歩く、走る、跳ぶなどの基本的な運動や、姿勢保持に必要な体幹を育む動きやバランスを必要とする動き、協調運動等を運動遊びやサーキット活動に取り入れて支援します。 ・視覚や触覚、聴覚等の感覚を十分に活用できるように、感触・感覚・音楽遊び等の活動を通して楽しみながら取り組めるように支援します。 ・手遊びや手先を使った遊びを通して、手指の動かし方や力加減、正しい道具の操作等を身につけ、手先を使った作業に集中して取り組めるように支援します。													
	認知・行動	・一人一人の認知の特性に合わせて、絵や写真、具体物を用いたスケジュールや手順書等の視覚支援を活用し、わかりやすい指示や見本の提示、かかわり方等を工夫することで子どもが状況を理解し、見通しをもって日課や活動に自発的に取り組めるように支援します。 ・生活や活動、遊びを通して事物の機能や形、色、音等への理解を深め、大小、数、重さ等を体験しながら概念を形成できるように支援します。また上下左右、前後等の空間や、曜日や日時、過去、未来等の時間についても絵図や時計、タイムタイマー、カレンダー等で視覚的にわかりやすくし、それらを認知や行動の手掛かりとしてその場に合った行動が取れるように支援します。													
	言語 コミュニケーション	・言葉によるコミュニケーションだけでなく表情や身振り、発声等によるやりとりを保育者と楽しく経験することを通してコミュニケーション意欲を育てます。また相手の気持ちや状況を理解したり、行動の意図を推測できるようにし、場面や相手の状況に応じて円滑なコミュニケーションを展開できるように支援します。 ・子どもの興味関心や経験に沿って丁寧な声かけを行い理解語彙を獲得し増やしていけるように支援します。 ・遊びや活動、生活のやりとり場面で、一人一人に合わせた気持ちや要求の表現の仕方（言葉やサイン、絵カード等）を身につけることができるように支援します。 ・子どもの特性に応じて、言葉や文字、サイン等多様なコミュニケーション手段を身につけ、伝え合う経験が積めるように支援します。 ・遊びや活動、生活の中に文字を取り入れて子どもの興味関心を育て、文字の習得の基礎となる遊びや活動を取り入れて支援します。													
	人間関係 社会性	・安定した日課や環境を整え、保育者が共感的・応答的にかかわることで信頼感や安心感を育めるように支援します。 ・遊びや活動を通して相手や相手のしていることに興味を持ち、模倣したり、場を共有したりしながら人と関わる力を育めるように支援します。 ・遊びや活動の中で、相手を誘って一緒に遊んだり、玩具の貸し借りをしながら、見立て遊びやごっこ遊びなどで楽しく遊べるように支援します。 ・交替や順番など集団で遊ぶ時のルールを保育者が介入しながら遊びや活動の中で経験し、身につけることができるように支援します。 ・遊びのルールを絵図を使って視覚的にわかりやすく説明したり、実際にやって見せたりしてルールに沿って遊ぶことや、役割分担、勝負の受け止め方、気持ちのおさめ方などが経験できるように支援します。 ・集団遊びを通して気持ちを共有したり、意見や考え方の違いに気づいたりしながら、互いに理解し合えるような経験を積めるように支援します。													
家族支援		・親子療育は、週1回プール活動を中心に行います。（単独） ・給食試食会や給食献立の調理実習を実施し、子どもの食事の量や形態、食べ方、偏食等について理解を深める機会を設けます。（単独） ・単独は年10回、親子は年6回の保護者講座を実施します（クラス懇談会や卒園児保護者との座談会も含む）。きょうだいを対象にした講座を企画実施し、きょうだい支援を行います。希望者にはペアレントトレーニング、CAREプログラムを実施します。					移行支援		保護者の同意のもと、就園・就学先と相互に訪問を行い、支援内容や支援方法について情報交換を行います。また就園・就学先に情報提供書を提出します。就園・就学後も保護者の相談に応じます。						
地域支援・地域連携		・地域障害児支援体制強化事業の一環として、保育園や幼稚園、子ども園を対象に年2回の研修を実施します。また、卒園児保護者を対象に年1回、児童発達支援事業所を対象に年1回の研修を実施します。 ・地域の保育園3力園と年6回、交流保育を実施します。（単独）					職員の質の向上		月1回の園内研修では、外部講師による研修と同法人内の専門職による研修、ケース検討会やワークショップ等を実施しています。またティーチャートレーニングやCAREプログラムを実施し、強度行動障害支援者研修等を受講しています。						
主な行事等		【単独】・5月：こどもの日の集い、春の親子遠足、6月：保育参観、7月七夕の集い、なつまつり、10月運動会、11月秋の親子遠足、芋ほり、1月消防署見学、12月クリスマス会、2月豆まき、3月ひなまつり、卒園式、ありがとうの集い ※毎月、避難訓練と誕生会があります。 ・年2回の健診診断（全園児）、年2回の歯科健診（全園児）・年4回のフッ化物塗布（希望者のみ） 【親子】・8月お楽しみ会、10月ミニ運動会、12月クリスマス会、3月お別れ会													